

# 仙美里発！北海道立農業大学校 Campus通信 No.41

後期を振り返り、農大の魅力をダイジェストで紹介！

## 道外視察研修



【九州・鹿児島県】



【四国・愛媛県】

今年度の視察研修は、海外の情勢不安から、国内視察に切り替え実施しました。畑作園芸経営学科は12月12日～18日の7日間で、研修先は九州四国地方、畜産経営学科が12月13日～18日の6日間で、研修先は九州沖縄でした。農家民泊の事例調査、食品加工工場、肥料農機具メーカー、農場の視察など充実した内容で行われました。



【阿蘇ミルク牧場視察】



【ポテトコロケの製造試食】

# 農大行事フォトアルバム

10月



農大市 10月17日

2月



体育大会 2月4日



## プロジェクト発表会



校内発表会 11月27日



【少し緊張気味ですが】



【聴衆者も真剣】



【やりとげました】

東日本発表会 1月21日～22日 山形県



【畑園1年佐々木君の発表】



【東日本の農大が集結】

全国発表会 2月21日～23日 東京

東日本ブロックの代表として本校の農業経営研究科2年の角川桃さんがプロジェクト発表を行い、研究課程の部門で最優秀となる農林水産省経営局長賞並びに全国農業大学校同窓会連盟賞を受賞しました。





## 平成27年度 卒業式



平成27年度卒業式が3月4日挙  
行されました。畜産経営学科31名、  
畑作園芸経営学科28名、稲作経営  
専攻コース9名、農業経営研究科  
6名、合計74名が農業大学校を巣立  
っていきました。今後は、次世代を担  
う農業者として全道の各地域で活躍  
されることを期待します。

## 同窓会入会式



3月4日、卒業式と同日に北海道立  
農業大学校 同窓会入会式が行われま  
した。当日は津島同窓会長からご挨拶  
を頂き、創立70周年記念事業を控え、  
同窓生として今後も協力し合い北海道農  
業を盛り上げていくことを入会式で確認す  
ることができました。

## 1年を振り返って



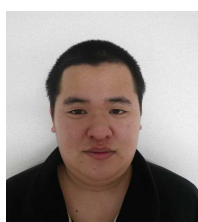
畑作園芸経営学科1年  
瀬尾 久尚  
(網走市出身)

農大に入学して、もう1年が経とうとしています。当初は、経験のなかった寮生活や学校生活でうまくやっていけるかどうか不安なことが多くありました。しかし、毎日過ごしていく中でクラスメートたちと仲良くなり、今ではとても充実し楽しく過ごしています。実習では、主に先輩方の補助を通し、人参、玉葱、馬鈴薯および長芋などの栽培体験ができました。初めての経験ばかりでとても大変でした。また、夏の農家研修では、不安なこともありましたがとても有意義な1ヶ月を過ごすことができました。来年度からは、自らのプロジェクト活動が本格的に始まるので、一生懸命がんばって成功させたいと思います。



畜産経営学科1年  
滝澤 シェス  
(倶知安町出身)

気がつけば、農大に入学して早くも一年が経とうとしています。入学時は新しい環境や寮生活に慣れることができませんでした。しかし、同じ目標を持つ同級生や先輩と共に過ごすなかで、充実した日々を送っています。授業は座学形式が半分、実習形式が半分かくらいだと思います。また、授業以外に通称「畜当」と呼ばれる朝・晩の畜舎実習を当番制で行っています。学生が中心となって農場運営を行うので、非常に実践的なスキルが身につきます。来年もこの一年で学んだことを活かしつつ、畜産を深く学んでいきたいです。



農業経営研究科1年  
石黒 智哉  
(足寄町出身)

研究科では約半年間実習を行います。実習の計画は自らが考え、自家や他の農家に行き実習、視察研修等を実施します。今年度、私は課題の一つとして乳質改善に関するテーマを設定し、自家実習を行いました。自家は町内でも体細胞数が高い傾向にあるため、もう一度乳質改善に係わる知識・技術を学び直す必要がありました。基本管理を見直すことで、成果が出るようになりました。来期は、高品質な生乳を安定生産するための取組と、新たな挑戦として、大型牧場などで、技術や経営を学ぼうと考えています。残りの1年間は仲間たちと楽しく有意義に過ごしていきたいです。



稲作経営専攻コース1年  
島田 聖史  
(岩見沢市出身)

稲作コースでは、作物栽培の基礎や農業簿記を中心に学習してきました。農高時代とは違い、難しいことも多く、初めは授業についていくことが大変でした。しかし、クラスメートと一緒に勉強したり、先生の話聞くことで、今では充実した学校生活をしています。拓大ではレポート作成が大変でした。農大での集中講義では、農業簿記・生産技術や生産動向・農業機械を学び、どれも就農したとき絶対に必要になるもので、とても勉強になりました。また、今までわからなかった我が家の経営の実態を知れたことで、今後の農業経営に役立てていきたいと思っています。これから実践的な講義が増えてきますが、高いモチベーションを持ち、スキルアップのために頑張りたいと思っています。